

Nagasaka Touch Plaza

長坂ふれあい広場

vol.23

2011/ 秋号

特集

1. わが職場の品質管理
2. 永年勤続優良従業員表彰
3. 職場実習生日記



NAGASAKA

To be a company
must be there



品質月間 — 11月1日(火)～30日(水)

第52回テーマ『危機を力に 品質革新 再び世界No.1』

私達は、千年に一度と言われる大きな危機に遭遇しましたが、そこから革新を生み出せる日本人の稀有な能力を今こそ発揮し、危機を力(ちから)に再び世界をリードする品質革新のための元年にしたいという思いがテーマに込められています。

当社においても東日本大震災の影響は大きく、受注量の大幅な減少とそれに伴う臨時休業などによる操業の短縮を余儀なくされました。そして、復興の進展につれて業績は、回復しつつあるものの今後どのような試練があろうとも競合他社を凌いで優位を維持する強靱な体質づくりが課題となります。課題解決のための重要方策の一つは、生産性の一層の向上による納期短縮やコスト削減、より高度な品質・信頼性の確保です。今年度の各部署のマネジメントプログラムには、上記の課題に対応した泥くさい取り組みが計画され推進中です。今回、特集として各係単位で1～2テーマ(品質目標)に絞って活動状況を紹介してもらうことにしました。

わが職場の品質管理

管理部

総務課

担当者:

大久保担当、深谷担当

品質目標: ・5S活動(機能5S)の継続 ・強化テーマ2件/年 実施

・ファイルサーバデータの層別と分類 ・防災備品置き場の機能5S(イナバ物置)

テーマ: ファイルサーバデータの層別と分類

Q1.活動内容を教えてください。

共通文書を個人でそれぞれ管理していたため、書類が重複して保管されていたり、最新版がわかりづかった。共通文書を関係する業務単位で機能別に大分類、中分類、小分類と細分化し、さらに関連する要領書、作業マニュアルへとつなげて整理し一覧化することを目標に活動しています。

Q2.進捗状況を教えてください。

テーマ毎に分類しスケジュール化して目標時間を設定し活動しています。現在、予定通り進んでいます。

Q3.苦勞している事がありますか？

個人で管理している書類や、就業規則(内規)の改訂もあり、新規登録書類が増えたため、項目の洗い出しが大変です。

Q4.困った事がありますか？

ひとつの項目に対して複数の書類や場合によっては、適用法令などもあるため、奥が深く『文書記録管理一覧表』を作成しても、思った以上に検索に時間がかかってしまうことです。

Q5.自慢話

『文書記録管理一覧表』が作成されると、共通文書の管理が一元化されるため、仕事の内容がひと目でわかり、検索時間も短縮され、効率のよい業務ができるようになります。新人や多能工化の教育にも役立てられると思われれます。



テーマ: 防災備品置き場の機能5S(イナバ物置)

PAGE: 3 作成日: 2011年7月11日 作成: 総務課 総務課									
文書記録管理一覧									
区分	文書名	作成者	更新日	更新者	更新内容	更新理由	更新頻度	更新場所	更新状況
共通文書	就業規則	総務課	2011/07/11	大久保	就業規則の改訂	就業規則の改訂	年1回	総務課	完了
共通文書	就業規則	総務課	2011/07/11	大久保	就業規則の改訂	就業規則の改訂	年1回	総務課	完了
共通文書	就業規則	総務課	2011/07/11	大久保	就業規則の改訂	就業規則の改訂	年1回	総務課	完了
共通文書	就業規則	総務課	2011/07/11	大久保	就業規則の改訂	就業規則の改訂	年1回	総務課	完了
共通文書	就業規則	総務課	2011/07/11	大久保	就業規則の改訂	就業規則の改訂	年1回	総務課	完了
共通文書	就業規則	総務課	2011/07/11	大久保	就業規則の改訂	就業規則の改訂	年1回	総務課	完了
共通文書	就業規則	総務課	2011/07/11	大久保	就業規則の改訂	就業規則の改訂	年1回	総務課	完了
共通文書	就業規則	総務課	2011/07/11	大久保	就業規則の改訂	就業規則の改訂	年1回	総務課	完了
共通文書	就業規則	総務課	2011/07/11	大久保	就業規則の改訂	就業規則の改訂	年1回	総務課	完了

Q1.活動内容を教えてください。

5S活動の背景には、防災備品と廃棄物が同じ物置の中で混在しており、衛生面や利便性に問題がありました。また、東日本大震災発生以前から防災備品の整備を進めていたのですが、東日本大震災を教訓とした、整備計画の見直し・再検討を行ったところ、かなりの備蓄量となり、ただ整然と収納しただけでは、必要となった備品を探すのに時間と手間が掛かることが想定されます。防災備品が、いざという時に、『誰でも』、『一目で収納場所が分かり』、『迅速に使用出来る』ように『見える化』をし、機能的な備品庫とすることを目標に活動しています。

Q2.進捗状況を教えてください。

計画から1ヶ月ほど遅れをとってしまいました。計画立てた以上、期日を守って活動していかねばならないのですが、必要備品の検討と、レイアウト構想に手間取ってしまいました。

Q3.苦勞している事がありますか？

備蓄をどれぐらい持つか(特に非常食を何日分持つか)の判断に苦勞しました。最終的には部内で検討し、想定される災害の規模から、帰宅困難者と復旧作業員の人数を割り出し、備蓄数を決定することにしました。

Q4.困った事がありますか？

東日本大震災が発生してまだ間もない為、備品の在庫簿が想定されますが、調達が遅れるものの中にはありそうで内心が気でないです。

Q5.自慢話

本来であれば防災備品を使用する機会が無いのが一番なのですが、忘れた頃に起こるのが災害です。いざという時に備え、全社員が防災備品を使えるように訓練を兼ねつつレクチャーを実施していますので協力をお願いします。



製造部

製造1課 生産管理係

担当者：蟹江課長代理

品質目標：生産管理業務の新システム移行による生産性の向上(6時間短縮)

Q1.新システムの概要を教えてください。

受注・発注業務で使用しているシステムは、導入からかなりの時間が経過し、システムの能力と現状の業務内容に乖離が生じています。新システムでは、『IT化』を推し進め、『いかに手を掛けず』『ミスなく正確に』『速やかな処理』が出来るシステムの構築に向けて活動中です。また、今は生産管理係に絞ったMP活動をしていますが、実は製造部全体を見たシステムの一部分に過ぎず、構想としては、材料搬入から出荷までの全工程を網羅出来るシステムづくりを目指しています。

Q2.システム導入により、どのようなメリットが想定されますか？

生産管理業務の時間短縮(6時間/日)や棚卸しの廃止などの効果が見込めます。

Q4.これからの生産管理の目指す姿はどのように考えていますか？

ただ在庫を管理するだけが『生産管理』の仕事ではなく、生産業務全体の最適化を図ることが、今後の生産管理係に求められるものだと思います。

Q3.目標は達成出来そうですか？

システム導入においては対外的折衝もありますので、時間は掛かりますが、現在考案しているシステムを導入し、軌道に乗れば十分に達成が可能です。



製造1課 1係

担当者：仲リーダー

品質目標：1便終了時間ライン誤差30分以下

担当者：石井担当

品質目標：5S活動 1件/年

Q1.マネジメントプログラムにて取り組んでいる活動内容を説明して下さい。

仲リーダー：『多能工化の推進』です。今までの生産計画にはムリ・ムラ・ムダが発生していた為、小日程計画で生産性向上を追及すると、多能工化の推進に繋がりました。多能工化が現状でどこまで進んでいるかという点、常時流動している品番が約250～280品番あり、その品番のうち各作業者がどの品番が出来るかリスト化までは完了していますが、震災以降に進めた多能工化の記録が盛り込まれていないので、その記録も新たに追加する必要があります。



石井担当：5S活動の一環として、『良品サンプル一時置場の改善』に取り組んでいます。今までは組付工程で使用した良品サンプルを、検査工程で使用するまでの間、『一時置き』として壁に掛けていましたが、L字フックを使用している為に、『検査員が取り外しにくい』『サンプル品が地面に落ちる』など、品質面で問題がありました。それらの問題を改善する為に、『壁に掛けるのをヤメル』『フックの形状を変更する』などの案を立てていますが、7月以降仕事の負荷が上がって来た為、活動時間の捻出に苦労しながら取り組んでいます。



製造1課 2係

担当者：若山係長

品質目標：納入不良0件/年(納入先カウント)

Q1.検査MT議事録の見直しと小日程計画の活用による検査MT(重要ポイント周知)によって品質管理上どのような効果がありましたか？

議事録に前工程からの注意情報を書き出す事によって、その日のスタート時に各検査員に伝える事ができ、各位に注意喚起されて、結果、不良流出低減に繋がる効果があります。

Q2.MP計画に『検査視点によるイエローカード』とありますが、これはどのような取り組みですか？

『新製品』『設変品』など、検査の際に特に注意が必要な製品に対してイエローカード(注意書き)を発行することを検討しています。発行理由は全部で6項目あり、不良流出ゼロに向けて、現在、推進中です。

Q3.2係の取り組みとしては他にはどういったものがありますか？

工程内不良の発見に一番効果があったのは見本サンプル品に様々な情報を明記する、『サンプル改訂』です。『逆組付注意』であったり、『欠品注意』であったりと、各ポイントに文字や数字を書き込むことにより、検査員の見落としが少なくなってきました。最終工程であるが故に、『絶対に外に不良を漏らさないぞ』という、検査員全員のポテンシャルが自慢です。



Q4.標準作業を遵守維持する為の取り組みとして、どのような活動をしていますか？

出荷検査員の育成の為、3ヶ月にわたって社内教育を実施しました。教育実施前と実施後に評価を実施し、出荷検査員としての力量(標準作業を遵守維持出来るまでレベルアップ出来ているか)を確認しました。現在は、暫定ですが9名中6名が出荷検査員として活躍しています。

製造1課 3係

担当者：近藤係長、中野担当

品質目標：工程内不良削減 30%

Q1.目標を設定する前の工程内不良発生数はどれくらいあり、主な不良の要因としてはどのようなものがありましたか？

近藤係長：昨年度においては納入不良ゼロでしたが、工程内不良発生件数としては、月に0.01～0.07%の割合でありました。不良の要因は主に、噛み込み(接着剤に乾燥剤をはさんだまま溶着した状態)や、寸法不良(溶着ラインのズレ)などです。

Q2.上期が過ぎましたが、目標は達成出来そうですか？

近藤係長：震災以降、生産数の落ち込みによって生産体制の見直しを図っていた為、月次目標を達成出来ない月もありましたが、年間の目標としては達成出来そうです。

Q4.不良を出さないように、個人としてどのようなことに意識をして作業されていますか？

中野担当：『標準作業を遵守する』ことが品質向上を目指す上で大前提ですね。標準作業が守れば、大抵の不良は未然に防げますし、逆に疎かにすると不良は沢山出るものだと思います。『慌てず』『正確に』が作業の基本なので、その点に気を付けながら日々の業務に取り組んでいます。

Q3.目標達成の為に具体的にどのような活動を行っていますか？

近藤係長：まず、個人別で不良データ取りを実施し、目標達成率や個人の癖、不良の発生要因を探ります。ただ全員に同じ指導・教育をするのではなく、その人の癖に合わせた教育指導を行っています。



自動車検定

今回号より『自動車検定』と銘打って、クイズを連載していきたいと思ひます。内容は、主に、自動車に関連した『一般問題』から『少しマニアックな問題』まで取り上げていきます。正解された方には賞品を準備しておりますので、皆さん奮ってご応募下さい。

- 応募締切：11月30日(水)必着
- 全問正解者の中から抽選で2名の方に賞品を進呈します。
- 応募方法は、用紙を社内掲示板の投函箱に投函していただき、応募締切日までに提出して下さい。

締切日までに社内掲示板に設けた投函箱に答案用紙を投函して下さい。



問題

Q1 2010年の国内新車販売台数は次のうちどれでしょうか？

- ① 約495万台 ② 約595万台
③ 約695万台 ④ 約795万台

Q3 次世代のエネルギー源として期待される燃料電池は、水素と酸素を燃料として用いますが、動力を取り出した後に排出される物質は次のうちどれでしょうか？

- ① 二酸化炭素 ② 窒素
③ 水 ④ オゾン

Q2 「豊田」や「岡崎」などのご当地ナンバーを含め、愛知県内のナンバーの種類はいくつあるでしょうか？

- ① 4つ ② 5つ ③ 6つ ④ 7つ

Q4 「車両総重量」とは、車両重量(空車重量)に乗車定員分の合計体重を加えた数値です。一人当たり何kgで計算されているのでしょうか？

- ① 50kg ② 55kg
③ 60kg ④ 65kg

Q5 次のうち追い越しが禁止されている場所はどこでしょうか？

- ① 勾配が急な上り坂
② 車両通行帯のあるトンネル内
③ 踏切横断後30メートル以内
④ 勾配が急な下り坂

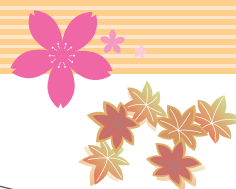
答え



表紙

写真決定!!

先月号より募集していました表紙の写真が決定しましたのでご報告します。



撮影者 小竹 重好 さん 撮影場所 『愛知県豊田市小原村』

表紙写真(題名) 『小原の四季桜』

撮影時の一言エピソード

秋に咲く桜『四季桜』の話を友人から聞き、休みを利用して愛知県豊田市小原村まで足を運べたそうです。もみじの横に mismatch に咲いていますが、けなげに咲く四季桜が何とも愛らしい作品です。11月初旬から下旬にかけて、丁度この時期が見頃だそうです。



表紙写真

今回は冬をイメージした写真を募集させていただきます。ご協力をお願いします。【応募期間】2012年1月31日まで
【提出先】総務課 大久保または深谷まで

字体デザイン

今回は応募がありませんでしたので、引き続きデザインを募集させていただきます。

ご協力ありがとうございました。



試作部 試作1課 鈴木 竜一

皆さんは『うさぎドロップ』というマンガをご存知でしょうか？最近実写映画になったりしていますが。内容は、独身男の『大吉』と祖父の隠し子らしい少女『りん』が出会い、大吉がりんを引き取って育てるといった内容で、マンガではりんの少女期から高校生になるまでと長い話で、私はその辺もおもしろいと思ってお勧めです。

私も二男一女の親でして、子育ての本とか読んでいますが……。当然マンガのようにいく訳もなく、小2の長男に至っては親に逆らうような悪ガキになりつつあります。妻から聞いた話ですが、今年の七夕でその長男が短冊にこう記したそうです。

『日本はまけない、日本はがんばる』

子供は知らない間に成長するものだと思ひました。日本の現状を考えると、とても贅沢な幸せなんですね。

今回は、製造部 製造1課 横江 勝利さん お願いします。



編集後記

～ある編集者のつぶやき～

今回の特集では、前年度の秋号に引き続き、『わが職場の品質管理』をテーマに、『現場の生の声』として各部署の担当の方より品質についてお話をいただきました。他部署が今のような事に取り組み、苦悩されているかは、ISOの内部監査員として活動されない限り、詳細をうかがい知れないですが、今回の特集を通じて、他部署の活動にも興味を持っていただき、会話の種にしていだければと思います。また今回は、『総務の品質』についても掲載しました。総務が品質を語るとぶつと笑われてしまいましたが、正直言って総務の品質(私だけ)はまだまだ青いです。『いい会社は、総務がしっかりしている』この言葉を真摯に受け止め、一歩ずつ前進していきたいものです。(猛省)
話は変わりますが、今回から新たな定例企画としてスタートしました『自動車検定』ですが、皆さんいかがでしたでしょうか？身近なものである『自動車』に関する問題ばかりでしたが、意外と難しかったのではないのでしょうか？(問題を作成した本人は2問しか解けませんでした。)今後も、より厳選した問題を出題していきますので、次回号も是非楽しみに!!